

# Q&A

一日本学生支援機構奨学金（貸与終了を迎える方へ） 平成22年度以降採用者用一

※ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

番号	項目	質問	回答
000	全般	学部卒業後に大学院に進学するので継続して奨学金を借りたい。	奨学金の貸与契約は各課程単位なので、学部から大学院への進学や博士前期課程から博士後期課程への継続貸与は出来ません。 進学後の課程において新たに奨学金を申請し、奨学生に採用された場合は、当該課程での奨学金の貸与を受けることが出来ます。 <b>なお、進学を予定している場合でも、貸与終了時の手続き(リレー口座の加入等)は必須です。</b>
101	リレー口座	第一種、第二種を同時期に貸与終了した場合、リレー口座加入は2回必要か。	1枚の用紙を使用し、一度の手続きで両方加入できます。併用貸与の場合は、第二種奨学金の奨学生番号のみを記入してください。 ただし、第一種奨学金に併せて入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けた場合には、第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。
102	リレー口座	以前の貸与終了時に一度リレー口座に加入しているが、今回再度加入しなくてもよいか。	再度加入が必要です。なお、以前加入した口座は、最新に加入した口座で上書きされ、同じ口座から引き落とされるようになります。
103	リレー口座	リレー口座の本人住所は、住民票に合わせなければならないか。	住民票に合わせる必要はありません。卒業後住所が変わる人が多いので、実家の住所を記入してください。
104	リレー口座	返還猶予・返還免除・繰上返還を申請するので、リレー口座に加入しなくてもよいか。	いかなる場合でもリレー口座の加入は必須です。
105	リレー口座	『リレー口座加入申込書』を書き損じたので、新しい用紙が欲しい。	『リレー口座加入申込書』は各キャンパスの学生センター窓口にてお渡しできます。 郵送で取り寄せを希望する場合は日本学生支援機構のホームページ ( <a href="http://www.jasso.go.jp/henkan/houhou/koza_youshiseikyuu.html">http://www.jasso.go.jp/henkan/houhou/koza_youshiseikyuu.html</a> ) から請求可能です。
106	リレー口座	リレー口座の加入手続きは、奨学生本人以外でも手続き可能か。	奨学生本人以外が加入手続きを行っても支障ありません。 ただし、お手続される金融機関によっては代理手続きが出来ない場合もありますので、詳しくは該当金融機関にご相談ください。
107	リレー口座	「奨学金貸与終了者の手続き要領」に記載されていたリレー口座の加入申込期限を過ぎてしまった。どうしたらよいか。	リレー口座の加入は必須ですので、期限後であっても、速やかにリレー口座に加入してください。また、大阪大学豊中学生センター(gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp)への報告メールに、手が遅れた事情を詳細に記載し、送信してください。 リレー口座の加入遅延は、返還の延滞扱いとなることがあります。詳しくは日本学生支援機構奨学金返還相談センター(【参考】日本学生支援機構HP: <a href="http://www.jasso.go.jp/henkan/">http://www.jasso.go.jp/henkan/</a> )へお問い合わせください(延滞となるかどうかについて、大学ではわかりかねます)。

# Q&A

一日本学生支援機構奨学金（貸与終了を迎える方へ） 平成22年度以降採用者用一

※ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

番号	項目	質問	回答
108	リレー口座	以前、奨学金【休止】中に、リレー口座に加入した。満期予定が更新された「貸与奨学金返還確認票」及びリレー口座加入用紙が届いたが、リレー口座の加入は必要か。	【休止】期間が長い場合など、無効になることがありますので、念のため満期予定が更新された「貸与奨学金返還確認票」発行のタイミングで、必ず再度リレー口座に加入してください。
109	リレー口座	『リレー口座加入申込書』の「共通記入欄」の「学籍番号」欄と「奨学金貸与終了月」欄に、「(学校提出時のみ記入)」とあるが、記入は不要か。	大阪大学ではリレー口座の加入報告はメールのみで、申込書のコピーの提出は不要です。で、「学籍番号」欄及び「奨学金貸与終了月」欄は記入不要です。
301	返還確認票	連帯保証人・保証人を変更したい。	「返還のてびき」裏表紙を参照し、 <b>最終振込後</b> に必要な手続きをしてください。
302	返還確認票	入学時特別増額貸与奨学金の返還確認票が届かない。	第一種奨学金のみ貸与中の方は、入学時特別増額貸与奨学金については、採用時にご提出いただいた「返還誓約書」の本人控から内容の変更がないため、「貸与奨学金返還確認票」が発行されません。 第二種奨学金の貸与を受けている方は、第二種奨学金の返還確認票に入学時特別増額貸与奨学金についての記載があります。
303	返還確認票	返還確認票の印字事項に誤りまたは変更がある。『返還のてびき』(P17)には“学校に届け出”するようになっているが、どうしたらいいのか。	返還確認票の「借用金額」及び「貸与の状況」欄に疑問や訂正がある場合は「奨学金貸与終了者の手続き要領」に記載された大阪大学の問い合わせ先にお問い合わせください。 なお、その他の記載内容(住所、電話番号、連帯保証人・保証人・本人以外の連絡先の情報等)に変更や訂正が必要な場合は、「返還のてびき」裏表紙を参照の上、 <b>最終振込後</b> に直接、 <b>日本学生支援機構</b> へ必要な手続きをしてください。(※貸与終了前は、 <b>手続きを行うことが出来ません</b> )

# Q&A

一日本学生支援機構奨学金（貸与終了を迎える方へ） 平成22年度以降採用者用一

※ご使用のPDF閲覧ソフトの「テキスト検索機能」でキーワード検索すると便利です。

番号	項目	質問	回答
304	返還確認票	返還確認票に記載されているメールアドレスに誤りがあるが、どうしたらよいか。	「スカラネット・パーソナル」で更新してください。 (「スカラネット・パーソナル」とは、ご自身の奨学金情報について確認等ができる日本学生支援機構の情報システムです。事前登録が必要です。) 【参考: 日本学生支援機構HP <a href="http://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/">http://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/</a> 】
305	返還確認票	これまでに「スカラネット・パーソナル」でメールアドレスを更新したが、「貸与奨学金返還確認票」の印字に反映されていない。	「貸与奨学金返還確認票」には、奨学金『申請時』のメールアドレスが印字されています。日本学生支援機構のシステムの都合上、これまでに「スカラネット・パーソナル」で更新したメールアドレスは「貸与奨学金返還確認票」の印字に反映されません。 メールアドレスが更新されているかどうかは「スカラネット・パーソナル」で確認してください。
401	返還猶予	卒業(修了)後も学生だが、返還を猶予してほしい。	4月以降に、在籍している学校の所定窓口で『在学届』を提出すれば、「在学猶予」の申請が可能です。詳しくは「返還のてびき」20～21ページを参照してください。 なお、4月以降に大阪大学に在籍する方の提出方法は、大阪大学ホームページ ( <a href="http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar/jasso/defer">http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar/jasso/defer</a> ) を参照してください。
402	返還猶予	大阪大学在籍中に奨学金の貸与が終了(【辞退】・【廃止】等)した。在籍中返還を猶予してほしい。	『在学届』を提出することで、「在学猶予」の申請が可能です。 大阪大学における『在学届』の提出方法は、大阪大学ホームページ ( <a href="http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar/jasso/defer">http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/student/tuition/scholar/jasso/defer</a> ) を参照してください。
901	全般	上記以外に質問がある。	豊中学生センター奨学金担当 ( <a href="mailto:gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp">gakusei-sien-en2@office.osaka-u.ac.jp</a> ) へ、メールでお問い合わせください。(「氏名」、「学籍番号」を明記し、メールの件名は「返還について」とすること)
902	全般	質問はなぜメールでしなければならないのか。	質問の内容は各人の状況等により多種多様となっています。それぞれの方に正確に回答するためには、確認する時間を要します。 電話や窓口での質疑応答では、お待たせすることにもなり、また記録にも残らないため口頭では後々トラブルの原因にもなり得ます。 特に多かった皆さんの疑問は、メールを基に随時「Q&A」に掲載しますのでご協力をお願いします。